

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年12月12日

計画の名称	武蔵野市第2期下水道計画の推進（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	武蔵野市													
計画の目標	平成26年度に改定した武蔵野市下水道総合計画に基づき各事業を確実に実施し、持続可能な安全・安心のまちづくりを実現していく。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,823	A	1,823	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	老朽管きよの延命化を図るため、老朽管きよ再構築率を11.5%(H28)から19.4%(H30)に増加させる。（女子大通り幹線 □3300×2970mm L=814m） 老朽管きよの延命化を図るため、老朽管きよを再構築する。 老朽管きよ再構築率 劣化度Ⅰ・Ⅱ L=4,198m 当初：482/4,198 最終：814/4,198	12%	%	19%
2	分流式の第3処理区（石神井川排水区）の雨水管整備を推進し、持続的で安全な雨水排水を確保するため、雨水管整備率を92.8%(H28)から96.5%(H29)に増加させる。（φ1800～2600mm L=460mm） 分流式の第3処理区（石神井川排水区）の雨水管整備を推進し、持続的で安全な雨水排水を確保するため、雨水管を整備する。 雨水管整備率（第1分区） 計画延長 L=12,999m 当初：12,059/12,999 最終：12,543/12,999	93%	%	97%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>
武蔵野市下水道長寿命化計画（武蔵野第1処理区）								

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	武蔵野市	直接	武蔵野市	管渠（ 合流）	改築	女子大通り幹線管渠再構築	管更生工事 □3300×2970mm L=332m	武蔵野市	■	■	■			759		策定済		
	A07-002	下水道	一般	武蔵野市	直接	武蔵野市	管渠（ 雨水）	新設	石神井川排水区雨水幹線整備	雨水幹線整備Φ1800mm～Φ2600mm L=460m	武蔵野市	■					1,030		—		
	A07-003	下水道	一般	武蔵野市	直接	武蔵野市	—	改築	下水道ストックマネジメント計画策定	施設管理の目標設定、長期的な改築事業のシナリオ設定、点検・調査計画、修繕・改築計画の策定（管路・ポンプ施設・人孔等）	武蔵野市		■	■			34		未策定		
												小計						1,823			
												合計							1,823		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
学識経験者等の第三者により構成された武蔵野市社会資本総合整備計画事業事後評価委員会を設置し、評価指標の実現状況及び今後の方針等について意見を求める。		令和元年10月	
		公表の方法	
		市ホームページ	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>交付対象事業の実施により、老朽管きよの再構築率を11.5%から19.3%へ増加させ、また雨水管整備率を92.8%から96.5%へ増加させたことにより、安全で快適なまちづくりの実現が図られた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>ストックマネジメント計画実施方針を検討したことにより、今年度策定予定のストックマネジメント計画の基礎として作成することができた。</p>

○特記事項（今後の方針等）

<p>ストックマネジメントを行うことで、計画的、効率的に老朽管渠の再構築に取り組み、今後も引き続き下水道サービスの安定性を確保し、持続可能で快適な生活環境を実現していく。</p>

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	老朽管きよ再構築率	
	最終目標値	19%
	最終実績値	19%
老朽管きよ再構築率 【最終目標】 814/4, 198(19.4%) 【最終実績】 810/4, 198(19.3%) 当初計画では下水道台帳による延長としていたが、現地調査を行った結果、施工延長に差異があることが判明したため。		
2	雨水管整備率	
	最終目標値	97%
	最終実績値	97%